

新任医師紹介 一言抱負を發表します！



循環器内科 白石 嘉憲 医長
“心身ともに若返った
つもりで頑張ります！”

外科 大野 毅 医長
“市民のために
頑張ります！”



耳鼻
いんこう科
岩永 哲 医長
“スマイル!!
で頑張ら
ます。”

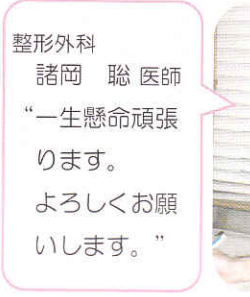


麻酔科 北島 美有紀 医師
“微力ながら頑張りたいと思います。
よろしくお願ひします。”

外科 北里 周 医師
“長崎の医療発展の
ため頑張ります。”



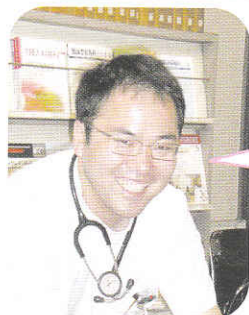
外科
三島 壯太 医長
“よりよい医療
を提供すべく
日々精進して
おります。”



整形外科
諸岡 聡 医師
“一生懸命頑張
ります。
よろしくお願
ひします。”



産婦人科 黒崎 真紀 医長
“頑張ります！”



外科
渡邊 健人 医師
“精一杯頑張ら
ますのでよろ
しくお願ひし
ます！”



小児科
武田 敬子 医師
“笑顔で頑張ら
ます！”

内科 福島 真典 医師
“丁寧な診療を心がけます。”



松原 大
研修医
“1年間という短
い間ですが研修
頑張ります！”



江頭 崇 研修医
“研修2年目なのでステッ
プアップを目指します！”

東郷 政明 研修医
“気合い入れて頑張りますの
でよろしくお願ひします！”

曾根 美佳
研修医
“ご指導よろ
しくお願ひ
します！”



田崎 雄一
研修医
“研修頑張ら
ます。”



中村 剛
研修医
“一つひとつ自分
のものにしてい
きます！”

道津 洋介
研修医
“まだ未熟ですが
一生懸命頑張ら
ます。”





初期臨床研修を終えて

“2年間の初期臨床研修を終えて”

研修の初めの頃は問診の取り方、基本的な診察法などから、カルテや手紙・サマリーの書き方、指示の出し方、オーダーシステムの使い方に至るまで初歩的なところから一つ一つ教わりながらのスタートでした。私は研修医の時期は幅広く疾患を勉強したいという希望があり、実際かなりの数の患者さんを担当させて頂きました。また内視鏡や気管支鏡・胸腔穿刺など手技もやらせて貰えることが多く、症例・手技の種類や数は他の研修医の少ない病院ではなかなか経験することができないのではないかと思います。

外科の研修では先生方には非常に熱心に指導していただき、ヘルニアや虫垂炎の症例をはじめとして、研修の最後には腹腔鏡下胆嚢摘出術を先生ご指導の下、執刀させて頂きました。縫合や結紮の手技も可能な限りさせて頂きました。正直、私は外科系に進む希望があまりなく、そのことについて先生方に相談にのっていただき、経験しておくべき手技として病棟での胸腔内・腹腔内ドレーン留置など多くやらせてもらい、特に中心静脈穿刺に関しては、外科研修中に20例近く経験したのではないかと思います。

麻酔科での研修で挿管に関しては、当時同時に回っている研修医や救急救命士が居なかったこともあって、120例近く行わせて頂きました。また、麻酔の全身管理は比較的簡単な症例ならある程度は任せられるため、自身でスキルアップせねばならないという、モチベーションアップに繋がりました。もちろん、難しい症例では後ろに付いて積極的に指導していただき、A-lineの確保や薬剤の選択・使用法など細かく教えていただきました。

選択科目では先生方の強い勧めもあり、病理診断科での研修をさせて頂きました。病理では午前の切り出しから始まり、午後にかけて

ひたすら多くの症例を検鏡し、自分で診断をつけ、レポートを作成します。夕方にはそのレポートを叩き台にディスカッションを行い、先生の熱心な指導の下更に新しい知識を得ることが出来ました。また、自分で経験した症例のCPCも担当し、病気の発症から最期までを勉強することが出来ました。

放射線科ではレントゲンからCT、消化管造影など徹底的に読影に励みました。また、将来的にエコーを行うことも多いと思い、腹部エコー数十例以上を担当させて頂きました。先生方はみなさん優しく基本的なところから指導していただき、時にはIVRやTAEなどの核医学的分野にも関わらせて頂きました。

研修は現在も進行形ですが、2年目の内科研修では一年目の時とは比べ物にならないくらい「任される」ことが多く、自身の勉強になりました。また症例も種類や数の面で他の病院では経験することの出来ないくらいバラエティに富んだものとなったと思います。また、輪番二次救急で、初期対応を多数経験できたことも、自身の勉強となり、将来内科医師として立ち立つための礎となってくれたと思います。専門医になった後にも、市民病院での充実した研修で得た、多くの経験を生かして仕事をしたいと思います。

我々の指導に力を尽くして下さる先生方がいらっしゃって、非常に充実した2年間を過ごすことができました。指導医の先生方を初め、お世話になった職員の皆様、ご迷惑をおかけしたことも多々あったと思いますが、大変お世話になりました。ありがとうございました。



松尾 真稔



研修医のみなさん、お疲れ様でした！
また市民病院に帰ってきてくださいね。

※残り3人の研修医は次回掲載します！

“長崎市立市民病院 臨床研修を終えて”

早いものでこちらでの研修2年目が始まり、もう1年がたとうとしています。1年前、新しい環境での仕事に不安を感じていたのがうそのようです。

市民病院は規模がそれほど大きくなく、科を超えて色々な先生と仲良くなれたのが1番の思い出です。

特に研修医は輪番日の当直を内科系、外科系の先生とするので、ローテートしていない科の先生ともお話しすることができ、また、この当直を経験することで、この症状のときはどの検査をして処方は…のような最低限なんですが、自分なりに対処の仕方を学べてすごく有意義でした。

夜中、眠れず翌日の業務が辛かったこともありましたが（笑）。

また外科をローテートしていたときに担当した症例を学会で発表させていただけたのもいい経験となりました。

市民病院はとてもアットホームな病院だと思います。とても過ごしやすいかったです。お世話になった先生方、職員の皆様、ありがとうございました。4月から大学病院の眼科に入局しましたが、市民病院での経験を少しでも生かせたらと思っています。



佐藤 桂

“市民病院での研修を終えて”

私は1年目は長崎大学病院で、2年目は長崎市立市民病院で研修を行いました。

市民病院では必修科目として産婦人科、小児科、精神科、地域保健の研修を行い、選択科目では内科、産婦人科、小児科、放射線科、麻酔科にお世話になりました。どの科の先生方もとても丁寧に指導してくださり、特に私が産婦人科に進路を決めてからは、小児科では新生児医療を経験させていただいたり、麻酔科では産婦人科の症例を優先的に当てていただいたりと、とても密度の濃い研修ができました。

また、市民病院では輪番日当直を経験しました。初めてのことで、最初は何もわからず看護師さんや指導医の先生方に助けてもらいながら

やっていましたが、1年たってみると、少しは慣れてきたかなと思います。

1年間の研修を終え、自分ではあまり変化を感じませんが、周りから成長したと思ってもらえればとてもうれしいです。市民病院で研修ができて本当によかったと思っています。

最後に、お世話になった先生方をはじめ、職員のみなさん、1年間本当にありがとうございました。



佐藤 光

病院の理念

いかなる時も優しさをモットーとして、市民の健康を守るため、地域と密接な連携のもと良質で安全な医療を提供します。

病院の基本方針 “治す 癒す 連携する”

1. 病気を治すために必要な最新で正しい知識・技術の習得に努めます。
(キーワード：科学的、理論的、EBM、正確、安全性、高度医療)
2. 患者さんとその周囲の人々を癒す気持ちを持ちつづけます。
(キーワード：人間性、哲学、宗教心、暖かさ、奉仕)
3. 地域医療支援病院として、病院内外の連携を密に地域で頼れる存在であり続けます。
(キーワード：協調性、チーム医療、連携、地域医療)

患者さんの権利

1. 全ての人にはその人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力のもとで、公平に良質な医療を受ける権利があります。
2. 医療を受けるに際しては、理解しやすい言葉や方法で、診療内容に対して十分な説明を受け、必要な場合には第三者の意見を聞くことができ、その上で治療方法を自らの意思で選択する権利があります。
3. 自分の診療記録などの開示を求める権利があります。
4. 基本的人権とプライバシーが守られる権利があります。

患者さんの責務

1. 医療提供者に対し、求められる情報をできるだけ正確に提供する責任と義務があります。
2. 他の患者さんの医療に支障を与えないよう配慮する責任と義務があります。

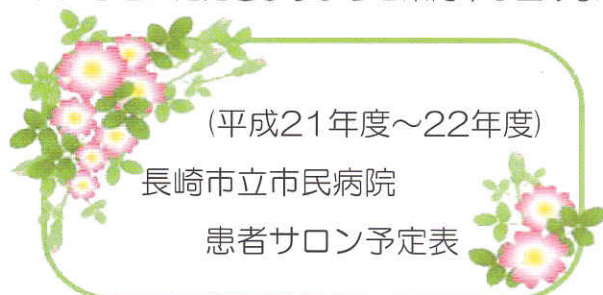


地域医療連携室便り

新緑の候、地域の医療機関の先生方にはお健やかに過ごしのことと存じます。

地域医療支援病院として紹介率、逆紹介率の上昇に向けて努力しているところでございますが、平成21年度は紹介率73.9%（前年度比4.1%↑）、逆紹介率50.6%（前年度比0.3%↓）でした。あじさいネット、開放病床共同指導もご利用くださいますようお願い申し上げます。

また、がん診療連携拠点病院として、今年2月から始めた患者サロンも好評で4回目を迎えることになりました。院外の患者さん・ご家族等も参加可能となっておりますので多数の患者さんにお知らせいただきますようご案内申し上げます。今後の予定を掲載させていただきます。



(平成21年度～22年度)

長崎市立市民病院

患者サロン予定表

開催場所は、5階南病棟講義室(外来化学療法室の前)です。

今後の開催日程について、都合により日時や場所が変更になる可能性があります。その場合、開催日ごとのチラシや玄関前掲示板、ホームページ等でご案内いたしますので、再度ご確認のうえお越しただければと思います。

★偶数月開催・・・おしゃべり会のみ

開催日	内容	備考
第1回 平成22年2月18日(木)13:30～15:00 「患者サロンオープニングセレモニー」		
第3回 平成22年4月22日(木)13:30～15:00	*「おしゃべり会」 がん体験者同士、ご家族同士の交流 患者さん、ご家族、医療スタッフで自由な話し合いや相談をする場	※自由に入室、退室していただいてOKです。 ※病院スタッフが同席します。 (医師、看護師、ソーシャルワーカーなど)
第5回 平成22年6月17日(木)13:30～15:00		
第7回 平成22年8月19日(木)13:30～15:00		
第9回 平成22年10月21日(木)13:30～15:00		
第11回 平成22年12月16日(木)13:30～15:00		
第13回 平成23年2月17日(木)13:30～15:00		

★奇数月開催・・・ミニ講演会の後、おしゃべり会

開催日	講演内容	講師
第2回 平成22年3月18日(木) 13:30～15:00	「がん治療と食事」	市民病院栄養係 中川ひとみ管理栄養士
第4回 平成22年5月20日(木) 13:30～15:00	「がんと放射線治療」 よくある質問とその解説	市民病院放射線科 南 和徳 医師
第6回 平成22年7月15日(木) 13:30～15:00	「がんと化学療法」	市民病院 小坂 幹子 看護師
第8回 平成22年9月16日(木) 13:30～15:00	「がんとは何か」	市民病院病理診断科 入江 準二 医師
第10回 平成22年11月18日(木) 13:30～15:00	未定	
第12回 平成23年1月20日(木) 13:30～15:00	未定	
第14回 平成23年3月17日(木) 13:30～15:00	未定	

がん患者以外の方や、当院にかかっておられない方々の参加も可能です。事前申し込みの必要はありませんので、お気軽にご参加ください。

問い合わせ先
地域医療連携室・
がん相談支援センター
Tel(代)822-3251
(内線2222)
担当：宮川、小川

長崎市立市民病院

〒850-8555 長崎市新地町6-39

TEL：095-822-3251

FAX：095-826-8798

HP <http://www.nmh.jp/shiby/>



長崎 市民病院

検索

まずはクリック♪

発行・編集
市民病院広報委員会

広報委員長
鈴木 伸